

2018
7.5

〔木〕19:00開演(18:30開場)

Hakuju Hall

〔東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5〕

出演

甲斐栄次郎 KAI, Eijiro (Baritone)

許昌 XU, Chang (Tenor)

山口佳代 YAMAGUCHI, Kayo (Piano)



KAI, Eijiro
〔Baritone〕



XU, Chang
〔Tenor〕

世界の歌劇場が認めた歌声の競演

甲斐栄次郎 & 許昌 ジョイントリサイタル

KAI, Eijiro & XU, Chang Joint Recital

全席自由 一般 ¥4,500(税込) / 日本声楽家協会会員 ¥4,000(税込)

日本声楽家協会会員券は主催のみ取扱い

●チケット販売

日声協オンラインショップ
tel.03-3821-5166



nisseikyoo.co.jp

Hakuju Hallチケットセンター

tel.03-5478-8700

10:00-18:00 火~土 ※祝日、休館日除く

オンラインチケット予約

<http://www.hakujuhall.jp/>

●主催・お問い合わせ

NPO法人日本声楽家協会 / 日本声楽アカデミー
tel.03-3821-5166 www.jvf.gr.jp

●共催

Hakuju Hall / 株式会社白寿生科学研究所

●後援

公益財団法人東京二期会
公益財団法人日本オペラ振興会 藤原歌劇団
東京藝術大学音楽学部同声会
聖徳大学SOA音楽研究センター

Nisseikyo

Program

G.ドニゼッティ作曲 オペラ《愛の妙薬》より 人知れぬ涙
G. Donizetti : 《L'elisir d'amore》 Una furtiva lagrima

G.ドニゼッティ作曲 オペラ《ファヴォリータ》より 来たれ、レオノーラ
G. Donizetti : 《La favorite》 Léonor! Viens, j'abandonne...

G.ヴェルディ作曲 オペラ《運命の力》より アリアと二重唱
Arias and Duets from G. Verdi : 《La forza del destino》
etc.



YAMAGUCHI, Kayo
〔Piano〕

世界の歌劇場が認めた歌声を - 甲斐栄次郎と許昌を聴く

バリトンの甲斐栄次郎は、世界三大歌劇場のひとつ、ウィーン国立歌劇場の専属ソリスト歌手として、歴史に名を残す名歌手や名指揮者らと共に2003年から10年にわたり舞台上に立ち続けました。テノールの許昌は、数々のヨーロッパのコンクールで1位を獲得、世界各地の第一線の舞台上で活躍を続けており、現在はオペラ大国、ドイツのマイニンゲン歌劇場でプリモ・テノールを務めています。今回の公演はプライベートでも親交のある二人だからこそ実現した、またとない夢の競演です。ピアノには、二人が東京藝術大学の学生時代から信頼を寄せる山口佳代。これぞ世界の歌劇場が認めた歌声、この貴重な機会を白寿ホールにてじっくりとお楽しみください。



《Roberto Devereux》
photo: Michael Pohn



《La traviata》

甲斐栄次郎 かい えいじろう/バリトン KAI, Eijiro (Baritone)

東京藝術大学卒業、同大学院修了(オペラ)。二期会オペラスタジオ 39 期修了(最優秀賞、川崎静子賞受賞)。文化庁オペラ研修所第 11 期修了。1999 年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークへ留学。平成 14 年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2002 年、五島記念文化財団の助成によりボローニャへ留学。イタリアにおいて第 8 回ザンドナイ国際コンクール第 3 位、第 10 回ティ・スキーパー国際コンクール " 第 1 位入賞。2003 年 9 月、ウィーン国立歌劇場にデビュー後、同劇場において10年間にわたり専属ソリスト歌手として活躍、42 役で 336 回の公演に出演。トーマス・ハンブソン主演の《シモン・ボッカネグラ》において、急病の歌手に代わり急遽パオロ役で出演、暗殺者を緻密に表現し、その存在を深く印象付けた。同役では、ブラシド・ドミンゴ、レオ・ヌッチらとも共演。2012 年、エディタ・グルベローヴァとの共演で歌唱、演技共に高い評価を得たドニゼッティ作曲《ロベルト・デヴェリュー》ノッティンガム公爵をはじめ、《ランメルモールのルチア》エンリーコ、《愛の妙薬》ベルコレ、《ラ・ファヴォリータ》アルフォンソ 11 世、《蝶々夫人》シャープレス、《ラ・ボエーム》マルチェッロ、《マノン・レスコー》レスコー等で高い評価を得る。国内では、二期会 50 周年記念《フィガロの結婚》タイトルロール、小澤征爾音楽塾特別演奏会《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロール、新国立劇場《鳴神》(市川團十郎演出)鳴神上人役、《蝶々夫人》シャープレス役、東京文化会館《古事記》イザナギ役、東京芸術劇場《真珠とり》ズルガ役等で出演。ソリストとしては、ベートーベン《第九》、ブラームス《ドイツ・レクイエム》、メンデルスゾーン《エアラ》、モーツァルト《レクイエム》、フォーレ《レクイエム》、ヘンデル《メサイア》、マーラー《嘆きの歌》等のソリストを務める。著書：ウィーン在住時代にモノクロフィルムで撮影した街角の写真とエッセイ「ライカで綴る古都ウィーン」(アートデイズ刊)。東京藝術大学准教授。聖徳大学客員教授。洗足学園音楽大学客員教授。日本声楽家協会正会員(日本声楽アカデミー会員)。二期会会員。

許昌 しゅう ちゃん/テノール XU, Chang (Tenor)

北京中央音楽院卒業。東京藝術大学大学院に留学。2001 年よりドイツ・ウルム市立歌劇場のソロ専属歌手、2006 年にドイツ・州立マイニンゲン歌劇場のソロ専属歌手として移籍し、現在まで17年間継続してプリモ・テノールとして活躍している。イタリア・ベッリーニ国際コンクール第 1 位。クロアチア・テノール国際コンクール第 1 位。2001 年ドイツ・ウルム歌劇場《椿姫》アルフレード役でヨーロッパデビュー。以降、イスラエルのテル・アビブ歌劇場、イタリアのフィレンツェ・オペラ・フェスティバル、エストニアのタルトゥ歌劇場、スペインのラス・パルマス音楽祭、スイスのビール歌劇場、ルーマニアのアラト市民ホール、ポーランドのクラコフ・オペラ・フェスティバル、韓国の大邱国際オペラ・フェスティバル、中国の国立歌劇場のオープンセレモニー、オーストリアのウィーンでヨーロッパフィルハーモニーと共演等、世界各地でオペラやコンサート、また宗教曲等にも出演し成功を収めている。今まで世界の歌劇場で出演したオペラは《ドン・ジョヴァンニ》、《魔笛》、《アンナ・ボレーナ》、《ランメルモールのルチア》、《ドン・パスクアレ》、《夢遊病の娘》、《ノルマ》、《清教徒》、《ウイリアム・テル》、《チェネレントラ》、《ナブッコ》、《リゴレット》、《トロヴァトーレ》、《椿姫》、《仮面舞踏会》、《運命の力》、《2人のフォスカリ》、《道化師》、《カヴァレリア・ルスティカーナ》、《ラ・ボエーム》、《トスカ》、《アンドレア・シェニエ》、《エレクトラ》、《薔薇の騎士》、《微笑みの国》等々他、そのレパートリーの広さは 45 種類を超え、プリモ・テノールとして 1,000 回以上のオペラの本番を積み、どんな役柄においても伸びやかな美声、叙情性豊かな表現力と圧倒的な存在感で聴衆を魅了する歌手であると世界的に高く評価されている。藤原歌劇団団員。日本声楽家協会正会員(日本声楽アカデミー会員)。中国四川音楽大学特任教授。

山口佳代 やまぐち かの/ピアノ

YAMAGUCHI, Kayo (Piano)
東京藝術大学大学院修士課程修了。第 33 回全日本学生音楽コンクール東日本第 2 位受賞。第 2 回日本室内楽コンクール第一位受賞。第 67 回日本音楽コンクール木下賞(共演賞)受賞。ソロ・リサイタルを度々に開催。2009 年には U.Hermann (Fg)、T.Hermann (Kl) と Trio Gabriel を結成し、ドイツ国内で演奏活動、CD 制作もしている。各オペラプロジェクトにコレペティートルとして参加。モーツァルト主要作品のチェンバリストとしても活躍。東京藝術大学講師、聖徳大学講師、日本声楽家協会コレペティートル会員、日本声楽家協会正会員(日本声楽アカデミー会員)、二期会オペラ研修所ピアニスト、二期会バッハ・バロック研究会ピアニスト。



Hakuju Hall 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 (株)白寿生科学研究所本社ビル 7F
tel.03-5478-8867

電車

代々木公園駅(千代田線)出口 1 より徒歩 5 分 / 代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩 5 分

バス

「富ヶ谷」停留所下車 徒歩 1 分

- 京王バス
波 6 1 (初台駅行) 波 6 3 (中野行)
波 6 4 (中野行) 波 6 6 (阿佐ヶ谷行)
波 6 9 (笹塚循環)
- 渋谷駅西口バスターミナルより 10 分
- ハチバス
本町・笹塚循環 春の小川ルート

※ホールには、お客様用駐車場はございません。

